

こどもの声が聞こえるまちづくり

少子化対策の見直しは

質問 少子化の言葉が、日

本中、定着してしまつた今、
渋川市も子ども施策として、
幅広くやつては来ましたが、
少子化がまったく改善され
ない。現状の施策のままで
は、いつになつても少子化
は変わらないと思いますが、
今こそ大胆な政策が必要と

考えるが。

須田 勝 議員

答弁 少子化の問題は、経

済状況を始め様々な影響を
受けることから、市全体で
施策を進めるとともに、国
全体で取り組まなければな
らない大きな課題です。
しかしながら、自治体の
小さな試みが功を奏する可
能性もあることから、市民

の皆様のご意見を反映しな
がら子育て支援施策を充実
させることで、少子化対策
につなげていきたいと考え
ています。

結婚対策事業は

質問 合併前の旧町村では、

結婚対策協議会など結婚対
策の事業に力を注いできた
経緯があります。今後の市
としても、男女の出会いに
関して、市が主体的に事業
を行うことで、市民が安心
して相談や参加ができるの
ではないかと思われませんが、

当局の考えは。

答弁 この件につきまして

は、小野上地区の女性懇談
会においても、独身者の出
会いの場を市で提供しては
どうかというご意見が多か
つたと聞いております。合
併協議の中におきましても、
この問題について協議され
ましたが、結婚は微妙な問
題でありますし、当事者間
の自由な選択に委ねるもの
でありますので、行政が関
わるのは非常に難しいと考
えております。

新型インフルエンザ対策と 新エネルギービジョン推進について

金子 渡 議員

質問 新型インフルエンザ

が発生したが、発熱外来の
医師・看護師確保は。

答弁 県から医師について

は地区医師会に、看護師に
ついては市に要請がありま
したので協力していきます。

質問 今後の感染が危ぐさ

れているタミフル耐性新型
インフルエンザへの対策は。

答弁 国は新型インフルエ

ンザワクチンの製造を進め
ていますので市は市民向け
に手洗い・うがいの励行を

引き続き周知していきます。

質問 太陽光発電への補助

金制度ができたが、市民へ
のPR、予定を超える申請
が出た場合の対応は。

答弁 7月15日号の「広報

質問 新エネルギービジョ

ンとバイオマスタウン構想
策定のスケジュールは。

答弁 新エネルギービジョ

ンは平成22年2月末日まで
に策定する予定で、その中
でバイオマス関連の調査を
踏まえ、構想を検討したい。

質問 小野上地区の小水力

発電所計画が遅れている。
本気で建設に取り組むのか。

答弁 今年度、開発規模の

再検討を行い、来年度は詳
細設計や河川法等の許可申
請手続きを進め、平成23年
度内の完成を目指します。

質問 利根川・吾妻川の鮎

が激減している。カワウ対
策と『釣り』をキーワード
にした観光誘致はどうか。

答弁 県や県漁連が主体と

なり対策を講じています。
清流まつりや阪東子持冬期
つり場など、吾妻川、利根
川の河川環境を生かした誘
客に努めます。



小野上の水力発電所の調査予定地



子育て支援センター

一般質問



昨年の小野上地区の神津島交流

こどもの学ぶ意欲を応援する市政を

安力川信之 議員

電子行政の取り組みは

質問 システム利用料と契約状況は。またその経費削減努力はどうか。

答弁 住民記録、戸籍、税、介護保険などを電算処理するシステム使用料は、年間6894万円です。これに機器の借上げや帳票出力作業等に加え、1社と随意契

約を結んでいます。作業方法、作業工数、技術者単価などを常にチェックし、経費の節減に努めています。今後はASP方式や他自治体との共同利用方式など、利用形態も十分検討し、引き続き経費節減に努めます。

親の所得と
進学格差の対応は

質問 低所得家計でも学ぶ意欲があれば、大学へ進学できるような本市も応援すべき。そのために奨学金制度の拡充を行う考えは。

答弁 市では経済的な理由により就学困難な人に対して奨学金を貸与しています。奨学金制度は、様々な制度があり利用者がそれぞれの返還計画を含めて自分の利用しやすい制度を選択していると考えています。奨学金制度の拡充については、他の制度の利用状況等を研

究しながら、検討をしていきたいと考えています。

質問 校庭や公園の芝生化を、そして維持管理を障がい者団体へ雇用創出する渋川方式とする考えは。

答弁 公園の芝生化は、利用実態と費用対効果を検討する必要があると考えます。公園の清掃活動を社会福祉法人に一部委託していることもあり今後研究します。校庭の芝生化は、部活動など頻繁に使用していますので困難と思います。

行政改革について・

臨海学校・歩道の安全対策

平方 嗣世 議員

行政改革について

質問 PDCAサイクルはサークル活動でこそ効果がある。各部サークルを結成し、さわやか運動を導入し改善・改革を進める考えは。

答弁 事務事業の見直しや事務改善に積極的に取り組む職員を養成し、行政改革の推進を図るため、職員提案に

取り組んでいます。この制度では、個人・グループの提案を対象としており、同制度を充実していく考えです。また、「さわやか運動」については、市の職員の基本的な心構えとして引き続き、周知を図っていきます。

質問 ブロードバンド未整

備地域への行政支援はできないか。

答弁 今後も通信事業者に早期整備を要望します。各地域でブロードバンド誘致活動の気運が高まれば、これを側面から支援します。

神津島での臨海学校

質問 出雲崎臨海学校中止により、交流のある神津島での臨海学校を再開できないか。

答弁 神津島では離島での自然体験ができるなどの長所もあるが、到着までの時

間や台風襲来時の対応など難しい問題もあるので、現在行っている集団宿泊体験を充実させていきたい。

歩道の安全対策

質問 歩車道境界ブロック歩道にガードレール等を設置した安全確保はできないか。

答弁 歩道の安全確保を図るため、駅や学校など利用の多い路線を中心に、引き続き地域の実情に合った対策を講じてまいります。



一部芝生化が予定される駅前児童公園